

鬼と神のあいだ

—— 南大阪の地名・うた・信仰をめぐって

10月11日(日)

12:00開場

シンポジウム 13:00～16:00

入場
無料

申し込み
不要

子供向けの
体験型ワーク
ショップも有り

場所：和泉シティプラザ 3階学習室1-A, B

登壇者および講演テーマ

- 1 学生発表（仲野日登）「南大阪の「鬼」がつく地名の由来と分布」
- 2 南郷晃子准教授（桃山学院大学 国際教養学部）
「河内の奇談—蓮体和尚の説話集より」
- 3 松澤俊二准教授（桃山学院大学 社会学部）
「地域を詠み留める—外山家人(とやまかじん)の歌から深井の記憶をたどる」

企画趣旨

百舌鳥古墳群に代表されるように、南大阪は平城京や平安京よりもはるかに古い歴史を有しています。その歴史は地名や伝承、習俗の中にひっそりと受け継がれてきました。本企画では、桃山学院大学の学生と教員が一体となって、地域に埋もれた記憶という遺産を発掘し、参加者とともに様々な角度から考察を試みます。

主催：桃山学院大学学生リーダー育成プロジェクト

学生リーダー育成プロジェクトとは：桃山学院大学社会学部の学生が様々なイベントを企画する授業です。

※来年度からは「イベントプロデュース特殊演習」に改称予定